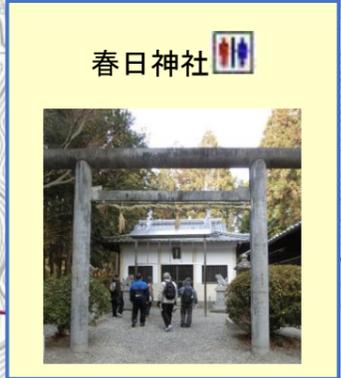
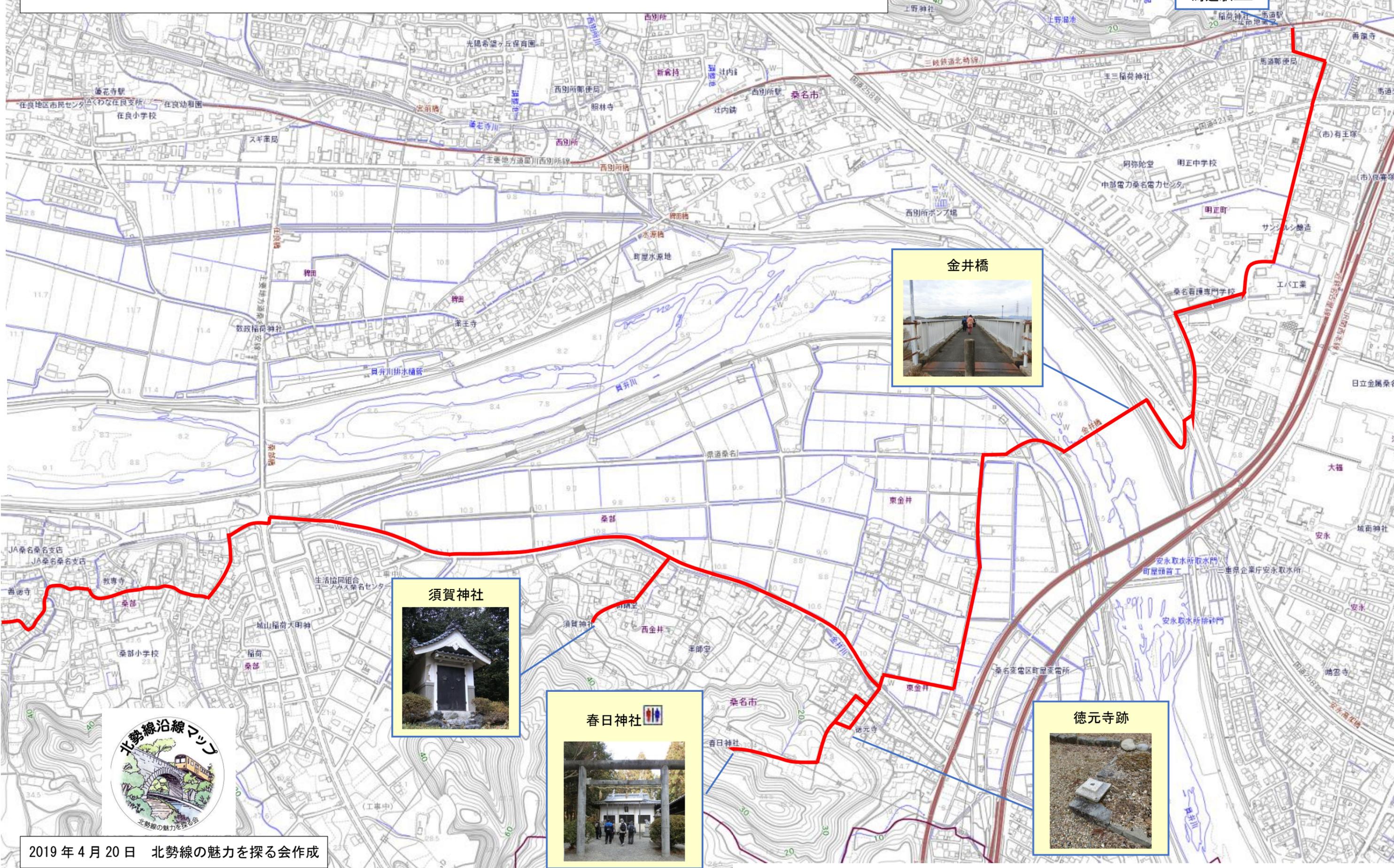


# 第31回北勢線の魅力を探る 東西金井の古里を辿りこだわりの納豆を知る No.1

馬道駅～在良駅 約7K 馬道駅→金井橋→東金井春日神社→須賀神社→小杉食品・見学→員弁川水管橋→在良駅



## 第31回北勢線の魅力を探る

# 東西金井の古里を辿りこだわりの納豆を知る No.2

### 金井橋

町屋川左岸の繁松新田から対岸の東金井に架けられた全長 181.9m 幅 2.5m の鋼製歩道橋です。このあたりの町屋川には上流の桑部橋から下流の町屋橋まで橋が無く、利便的に近くの鉄道橋を渡る人が多くて危険であったため地元の要望で架けられたという。この橋上から上流部を見ると第 29 回の「町屋御用水を巡る」で訪れた御用水の取水口がはっきりと確認できる。

### 金井山徳元寺(廃寺)

浄土真宗本願寺派。当時の南側の丘陵上にあった金井城の被官である山家氏の一族が開基。長島一向一揆に参加し、信長勢に攻められ廃寺になったがのち再興された。しかし平成に入り堂宇が取り壊され廃寺となっている。当時にあった梵鐘は、もと桑名の春日神社内の神宮寺の鐘で、寛永 15 年(1638)銘の北勢地方に現存する最古の鐘であった。現在は南魚町の仏眼院に買い戻されている(市指定文化財)。

### 東金井 春日神社

祭神は天児屋根命、天照大御神ほか2神。  
明治時代に桑部の長谷神社に合祀されていた春日神社が戦後氏子の総意により旧社地に分祀鎮座されました。春日神社は中臣氏(藤原氏)の祖神とされる天児屋根命を祀る神社で、桑名市内には石取祭で有名な桑名総社(通称春日神社)のほか春日神社と称する神社は5座あります。

### 須賀神社

祭神は素戔鳴尊。桑部の長谷神社の分霊を祀る神社として西金井に鎮座する。この神社の社殿は土蔵造りで、昭和3年に桑部小学校の奉安殿として作られた建物を戦後移築したものです。社殿の北側の茂みの中に桑部村出身の日清戦争の戦没者の記念碑があります。  
(注)奉安殿とは戦前の日本の学校で、御真影(天皇・皇后の写真)と教育勅語を納めていた建物のこと。

### 長谷神社

延喜式内社の一つで、常陸国鹿島神宮の祭神を勧請したといわれ、旧地は現在地より南の丘陵地の谷間の長谷にあったが、のち社殿の流出により正安年間(1299~1301)現在地に移った。祭神は建御雷之男神と天児屋根命ほか 11 神。明治時代に桑部、金井、能部にあった多くの神社を合祀している。

### 小杉食品

昭和8年創業の納豆専門メーカー。カラフル納豆やチョコ納豆などユニークな商品開発が特徴で 30 種以上の納豆を作っています。工場の玄関にはあたかも納豆の糸で絡まれたような自然石が飾られています。工場の2階からガラス越しに納豆が作られていく様子が見学できます。

### 員弁川水管橋

木曾川水系の水を弥富揚水場から四日市市の山村浄水場まで送る北伊勢工業用水の水管橋で全長 230m、幅 2.2m、直径 1.8m の太い水道管が員弁川の上をサイフォンの原理で渡っています。

